

日交研シリーズ A-705

平成 28 年度研究プロジェクト

「アクセシビリティ改善のための交通システムとインフラ施策に関する研究」

刊行：2017 年 12 月

アクセシビリティ改善のための交通システムとインフラ施策に関する研究

Study on the Transport System and Infrastructure Policy to Improve Rural Accessibility

主査：寺田 一薫（東京海洋大学）

Kazushige TERADA

要 旨

地域交通サービスに関しては、2013 年の「交通政策基本法」第 16 条で、人・物の移動円滑化の上で特定の地域に配慮することが規定された。だが、同法においては、供給すべきサービスの範囲までは示されていない。この分野での整理において、有力な分析方法がアクセシビリティ理論であるが、このアクセシビリティは、現実には公共施設へのアクセスの次元で集計されることが多い。このため、住民の日常的な買い物行動の複雑性や、地域を支える物流の重要性が看過される傾向もある。

本研究では、これらの問題について基礎的文献調査、ならびに買い物難民問題を中心とした最新の政策動向をまとめた後、地方空港、港湾などの関連インフラを含めた分析を行う。

まず「社会的排除の防止に関する諸概念の整理」では、交通サービスと情報通信サービスの両方へのアクセス改善の視点から、社会的排除を防止するような政策のあり方を考察した。「旅客交通システムの改善による買物弱者対策の有用性」では、近年社会問題化している、地方部や大都市外縁部の買物弱者問題を扱った。

関連した基礎的整理として、「輸送改善・費用に着目した貨物流動と都市階層の関連性分析」では、地域・都市構造と貨物流動との関係を明らかにした。「規制緩和後の地方空港からの国内線・国際線におけるネットワークの変化」では、地方部の最終的なアクセス手段として人流と物流を支える地方空港活性化について扱った。サブテーマとして、「地方都市の港湾と漁港におけるプレジャーボートの放置艇対策について」では、地方の港湾・漁港の活用と収益改善の手段として、プレジャーボートの係留問題を扱った。

キーワード：社会的排除、買い物弱者、貨物流動と都市階層、地方空港、プレジャーボート

Keywords : Social Exclusion, People in Food Desert, Good Movement and Urban Hierarchy,
Local Airport, Pleasure Boat